|  |
| --- |
| 【児童の実態】小規模校のため人間関係が固定化しがちで、交流経験も乏しい。【地域の実態】学校教育に対して協力的で、児童を大切にする地域性である。【学校、家庭、地域の願い】児童の実社会に生きる力や郷土愛を育みたい。 |

地域連携全体計画

|  |
| --- |
| ○日本国憲法○教育基本法○学習指導要領○福島県教育委員会重点施策○新地町教育目標 |

|  |
| --- |
| 学　校　教　育　目　標 |
| ○やさしい子○勉強する子○たくましい子 |

|  |
| --- |
| 重　点　目　標 |
| 自分で決めて本気で実行最後まで！　できるまで！ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域連携で目指す児童像 |  | 地　域　連　携　推　進　目　標 |  | 地域連携に関する課題 |
| ○自ら進んで地域と関わり、地域の一員という自覚をもつことができる児童 |  | ○計画的に地域住民との交流や様々な体験活動を推進することで、児童の地域への理解・関心を深める。○地域の人材や資源を効果的に活用することで、地域の教育力の向上と活性化を図る。 |  | ○中心となるコーディネーターがいない。○各担当者が個別に地域の人材や施設との連絡・調整を行っている。 |

|  |
| --- |
| 生　か　し　た　い　力 |
| 地　域　の　人　材 | 地　域　の　資　源 |
| ・各ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによる活動　　学習支援、環境支援等・各関係機関・企業等との連携　　出前授業（食育、保健指導等）、高齢者との交流等 | ・地域資源を活用した校外活動　　文化財、職場体験、三校交流等・社会教育施設の活用　　図書館、勤労青少年ホーム等 |
| 学　校　の　力 | 地　域　へ　の　参　画 |
| ・学校の教育力を生かした活動　　ＰＴＡ行事、中学校区の連携 | ・地域との連携　　奉仕作業、防犯交通安全パレード等・近隣、異校種、地域団体との連携　　地域の行事・イベントへの参加等 |

|  |
| --- |
| 地 域 連 携 教 育 に 関 わ る 各 学 年 の 関 連 課 題 |
|  | 人間関係・社会形成能力 | キャリアプランニング能力 | 課題対応能力 | 意思決定能力 |
| 課題 | ・自己の能力を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協働してものごとに取り組む。 | ・学ぶこと、働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、生き方の選択に生かす。 | ・将来の生き方や生活を考え、社会の現実をふまえながら、前向きに自己の将来を設計する。 | ・自らの意思と責任でよりよい選択決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。 |
| 低学年 | ・自分の好きなことや大切にしたいことが言え、友達と仲良く遊び助け合う態度を養う。 | ・係や当番活動の大切さやその方法を理解し、しっかりと取り組むことができる。 | ・目標をもつことの大切さに気づき、日々のめあてを設定し実行することができる。 | ・新しい環境に慣れ、意欲をもって規律ある学校生活を送ろうとする態度を育てる。 |
| 中学年 | ・自分のよさや友達のよさを認め合い、励まし合う態度を養う。 | ・世の中の仕事について知り、現在の学習内容が将来とどのように関係していくのか気づく。 | ・将来の夢や希望について考え、どんな人間になりたいか目標を掲げることができる。 | ・どのような態度で生活することが、自分にも周囲にもいいことなのかを考えることができる。 |
| 高学年 | ・自分らしさを発揮し、所属する集団に貢献する態度を養う。 | ・様々な体験学習をとおして、職業に対する関心をもち、働くことの意味について考える。 | ・将来のことを考える大切さを理解し、そのために自分が今何をすべきなのか考えることができるようにする。 | ・中学校生活への適応指導を図り、夢をもち目標に向かって努力する態度を育てる。 |

|  |
| --- |
| 地　域　連　携　指　導 |
| 指　導　援　助　の　方　針 | 指　導　体　制 | 評　　価 |
| ・地域との関わりを大切にした教科指導の充実・キャリア形成への支援 | ・地域連携担当教職員を中心とした連絡、調整、会議・地域との連携を重視した指導・系統的な指導計画の作成 | ・地域連携教育に関わるポートフォリオの活用・保護者、地域からの評価及び外部講師からの評価 |